



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第13号
(10月21日～11月2日)

令和5年10月20日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部



樹上選果マン

ふじの収穫は有袋果が10月25日頃、無袋果が10月30日頃から！
シンクイムシ類などの被害果が混入しないよう選別の徹底を！！
風害対策は万全に！！

I 概要

ふじの果実肥大は、平年並から平年を上回っている。

ふじの熟度は、5日程度進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月25日頃、無袋果が10月30日頃からと見込まれる。ふじの熟度の進みからみて、王林の収穫も平年より早い10月24日頃からと見込まれる。

炭疽病、輪紋病などの被害果は適切に処分し、シンクイムシ類の被害果は健全果に混入しないよう徹底して選別する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。反射資材を片付ける際に土を飛散させたり、収穫した果実は長く野積みをしない。

強風に備え、防風網の点検、補強などの風害対策をしっかりと行う。

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

ふじの果実肥大は平年並から平年を上回っている。

○果実肥大 (横径cm、平年比%)

地 域	年	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	8.7
	平 年	8.8
	前 年	9.2
	平年比	99
青森市浪岡北中野 (東青地域県民局)	本 年	8.6
	平 年	8.5
	前 年	9.2
	平年比	101
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	9.1
	平 年	8.8
	前 年	8.6
	平年比	103
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本 年	9.8
	平 年	8.8
	前 年	9.1
	平年比	111
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	9.2
	平 年	8.6
	前 年	8.8
	平年比	107

注1 各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

2 10月20日の調査データに基づいて10月21日現在の横径に補正

(2) 果実熟度

10月19日現在、無袋ふじは平年と比較して、糖度は高く、硬度、酸度、ヨード反応指数及び着色指数は低い。総合的に見て、熟度は平年よりも進んでいると見込まれる。

有袋ふじは平年と比較して、糖度は高く、硬度はやや低く、酸度、ヨード反応指数及び着色指数は低い。総合的に見て、熟度は平年よりも進んでいると見込まれる。

○ふじ（無袋）の熟度の進み

(調査月日：10月19日)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポイント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応 指数	蜜果率 (%)	蜜 入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	345	2.3	15.1	14.3	0.377	2.4	73	0.8
	平年	328	2.8	15.7	13.5	0.399	2.8	71	0.8
	前年	358	3.0	14.4	12.4	0.279	2.6	67	0.5

注1 平年：2001年～2020年の20か年平均

2 着色指数：0～5（大きい数値ほど着色良好）

3 ヨード反応：ヨードでんぷん反応指数0～5
(小さい数値ほどでんぷんが少ない)

4 蜜入り程度：0～4（大きい数値ほど蜜入りが多い）

○ふじ（有袋）の熟度の進み

(調査月日：10月19日)

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (ポイント)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応 指数	蜜果率 (%)	蜜 入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	341	2.9	15.7	13.6	0.312	2.5	33	0.3
	平年	320	3.3	16.1	12.9	0.391	2.8	40	0.4
	前年	360	3.1	14.1	11.9	0.284	2.5	8	0.1

注1 平年：2003年～2020年の18か年平均

2 除袋日：9月20日外袋、25日内袋

(3) 作業等の進み（10月18日現在）

シナノゴールドなどの収穫が行われている。

ふじの葉摘み、玉回しなど着色手入れが行われている。

2 作業の重点

(1) 晩生種の収穫

ア 王林、ふじ

ふじの熟度は5日程度進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月25日頃、無袋果が10月30日頃からと見込まれる。

収穫時期が遅すぎるとつる割れの発生が増加するほか、貯蔵中に内部褐変の発生が懸念されるので適期に収穫する。

ふじの熟度の進みからみて、王林の収穫も平年より早い10月24日頃からと見込まれる。

王林、ふじの収穫時の標準指標

品種	地色	硬度 (ポンド)	糖度	ヨード 反応	蜜入り程度	食味
王林	4～5	14～16	13%以上	2～3	—	3.5以上
ふじ有袋	—	14～16	13%以上	2程度	1程度	3以上
無袋	—	13～16	13.5%以上	2以下	2以上	4以上

注1 地色：果実カラーチャート・リンゴ・王林の指数1（濃緑色）～7（黄色）
 2 食味：指数1（未熟）～5（非常に良好）

イ 星の金貨、ぐんま名月

収穫時期の判断が難しいので、「収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して適期に収穫する。平年の収穫始めは、星の金貨が10月25日頃、ぐんま名月が10月30日頃である。

ぐんま名月は、果肉の軟化が早く、蜜褐変の発生が多いので年内販売とする。

星の金貨、ぐんま名月の収穫時の標準指標

品種	硬度	糖度	ヨード反応	食味
星の金貨	14～16ポンド	14%以上	2.5以下	4以上
ぐんま名月	12～16ポンド	14%以上	2以下	3.5以上

(2) 山選果の徹底

山選果は、十分な明るさの下で、果実全体を確認して行う。

各地で日焼け果やさび果の発生が見られるので、出荷先の基準により選別・出荷する。

シンクイムシ類の被害果を流通させないために、収穫した果実は徹底して選別する。特にモモシンクイガによる、がくあ部付近の食入痕や滴痕を見逃さないように注意する。

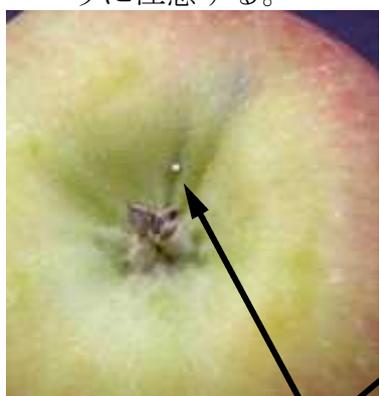


図1 白く乾燥した滴痕
(食入痕に生じた滴が乾燥したもの)

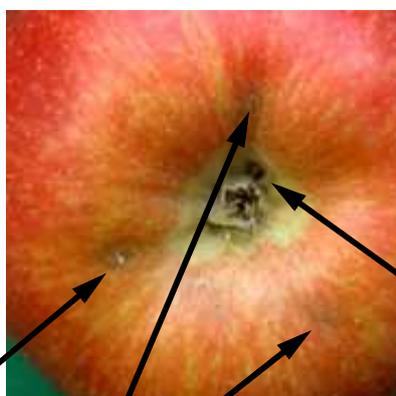


図2 幼虫の食入痕



図3 老熟幼虫の脱出口

提供：(地独) 青森県産業技術センターりんご研究所(図1～3：モモシンクイガ)

(3) 病虫害対策

ア 果実疫病（おそ疫病）

反射資材を片付ける際は、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入しない。収穫した果実は長く野積みをしていない。

イ 炭疽病、輪紋病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

ウ 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入するので、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

エ 黒星病

被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

オ シンクイムシ類

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

(4) 風害対策

強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

3 一般作業

(1) 鳥害対策 (2) 野ネズミ対策

4 今後の作業 (11月3日～)

(1) 晩生種の収穫 (2) 病虫害対策 (3) 風害対策 (4) 野ネズミ対策 (5) 雪害対策 (6) 堆肥づくり、酸性土壌の改良 (7) 園地清掃

《 秋の農作業安全運動展開中！ 》

機械を使って作業を行う際は、焦らず、急がず、慎重に、を基本に事故のないよう十分注意しましょう。はしごの上で作業する時は、足場がしっかり安定しているか確認するとともに、天板の上には乗らないようにしましょう。園地に出かける際は、携帯電話を必ず持参し、家族などに行き先や帰宅時間を伝えてから出かけるようにしましょう。

《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。

令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

《 備えあれば、憂いなし！農業保険を活用しましょう！ 》

自然災害や価格下落など、農業経営を取り巻く様々なリスクに備えるため、自分の経営にあった農業保険（国などが掛金の一部を補助する公的保険制度）を活用しましょう。

1 農業経営収入保険

青色申告実施者を対象に、品目の枠にとらわれずに、農業経営者ごとの収入全体を見て、自然災害による収入減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填する保険です。

<令和6年分の申込期限が間近に迫っています> -----

個人経営の場合 継続の方：11月末まで

新規の方：12月末まで

国の制度の見直しにより、令和6年から制度が拡充されます。

①気象災害特例：被災した年の農業収入を上方修正し、補償範囲を拡充

②早期加入：加入時の青色申告実績期間を2年から1年に短縮

令和5年に青色申告する場合は、令和6年から加入可能

③保険方式拡充：保険方式のみで9割を補償限度とするタイプの新設

2 果樹共済

りんご、ぶどう、ももを対象に自然災害や病害虫、鳥獣害による収穫量の減少を補填する保険です。

令和6年産の総合短縮方式に係る加入申込みは、令和6年3月下旬の予定です。

詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

県内でクマが出没しています。ご注意ください！

次回の発行は令和5年11月2日（木）の予定です。

連絡先：りんご果樹課生産振興グループ 電話番号：017-722-1111代表 内線5093、5094 017-734-9492直通
--